

投稿論文執筆要領について

制 定 2008 年 3 月 1 日

編 集 委 員 会

最新改正 2022 年 4 月 25 日

I. 全体の構成ならびに提出方法等諸注意

1. 原稿は、和文または英文とし、ワードプロセッサにより作成された、図・表・脚注・参考文献等のレイアウトを含めた完全原稿であること。図や表を本文に含めない場合は、本文中にレイアウトの位置を明記し、以下の(Ⅳ. 図表の体裁について)の指示に従い、1 件ごとに 1 枚ずつ用意すること。

使用する作成ソフトは、MS Office の Word を原則とするが、それ以外のソフトで表現する必要がある場合は、あらかじめ編集事務局に問い合わせること。

2. 論文は、題名、氏名、所属、Abstract、本文、脚注、参考文献から構成される。Abstract は英文で 300 語以内とし、和文の論文については題名を日英両語で表記する。また、任意で謝辞を付すことも認めるが、表記は、以下の(Ⅲ. 脚注と参考文献の表記について)の指示に従う。和文原稿では当用漢字、現代かなづかい、アラビア数字を使用し、平明な表現を用いること。

なお、具体的な体裁は、以下の(Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ)に従うこと。

3. 原稿のサイズ、文字数等は以下のようにする。

①和文の場合

用紙は A4 判とする。11ポイントの書体を用い、1 行を 39 文字とし、1 ページあたり 39～40 行とし、図表込みで 15 ページ以上 20 ページを限度とする。ただし、特段の事情がある場合は、編集委員会の承認を経て、これを超えることができるものとする。原稿は原則として横書きとするが、縦書きでの提出を希望する場合は、事前に編集委員会に問い合わせること。ページ番号はフッターに印し、センタリングする。

②英文の場合

用紙は A4 判 (Letter Size) とする。10ピッチ、26 行、ダブルスペースで、図表を含み 40 枚 (10,000 語) 程度の分量とする。ページ番号はフッターに印し、センタリングする。

4. 査読審査を受けるため、執筆においては次の点に注意する。

執筆者の氏名、所属、その他執筆者が特定される情報を表紙以外にいつさい含めないこと。編集委員会による第一次審査において、本文中にこうした情報があると認められた場合は、修正を求めたり、投稿者に許諾を得た上で編集委員会において伏せ字等にする場合がある。

5. 執筆者は引用文献リストの前に「利益相反」の項目を設け、利益相反について開示しなくてはならない。

6. 原稿の提出方法は、印刷した完成原稿を郵送するが、あわせてその電子データを電子メールの添付ファイルで送信する。

7. 掲載が認められた場合、編集における著者校正は一度限りとするが、字句訂正のみとし、内容に及ぶ訂正・追加は原則として認めない。

II. 本文の体裁等について

1. 表題: 論文の題名、著者名、所属、e-mailアドレスをそれぞれの行に示す。

[例]

南クリル(北方四島)をめぐる議論——最近のロシア中央・極東紙から——

Disputes on the “Northern Territories”:

Reading the Russian Central and Far Eastern Newspapers

成蹊太郎

Taro Seikei

成蹊大学法学部

Faculty of Law, Seikei University

E-mail: OO@seikei.ac.jp

2. 項目の区分は、以下のルールに従うものとする。

節: I, II, III, IV, …

項: 1, 2, 3, 4, …

以下: (1), (2), (3), (4), … そして、a, b, c, d, …

なお、文章中の列挙は、(1), (2), (3), (4), …を用いる。

3. 外国の国名、地名、人名などは、漢字による表記が慣例となっている場合を除き、原則としてカタカナ書きにする。なお、一般的ではない固有名称は、最初に限りそのアルファベットによる言語をカッコ内に付記する。 [例] ニザムプル(Nizampur)村では、..。
4. 外国語、外国(中国を除く)の度量衡および貨幣の単位は、カタカナ書きにする。ただし、工学系の論文の構成上、不可欠な単位の記号はこの限りではない。
[例] メートル、トン、ドルなど。ただし、図表には、記号(m, t, \$など)を用いる。
5. 数字は、原則としてアラビア数字を使う。ただし、工学系の論文を除き、本文中にはコンマを用いず、万以上の数字には、万、億などを用いる。 [例] 第7次5カ年計画、42億5400万ドル
6. 年度の表示には斜線を用い、継続年次の場合は～を用いる。 [例] 1975/76年度、1982~87年
7. 補足にはカッコを用い、カッコが重なる場合にはダッシュを用いる。
[例] 48 ライ(laiーライは、0.16ha)
8. 変数は、本文、数式、表中を問わず、イタリック(斜体)表記にする。

[例] $u_2(t) = c_1 u_1(t) + e_2(t)$

Ⅲ. 脚注と参考文献の記載について

本文や脚注での参照は、「著者名(発行年)」の形式で示し、これらの参照図書は、全て参考文献に詳細と共に列記する。なお、脚注は、本文中の用語などの補足の目的に用い、最小限にとどめる。

[例] ..Nash(1950)によって一般均衡理論が示された。

もしくは、 ..一般均衡理論が示された(Nash,1950)。

1. **脚注:** 脚注は、論文全体で通し番号を付し、文中の該当するところに上付き文字(スーパースクリプト)で示す。 [例] 同じ製造技術を持っており¹⁶、ここに..あった¹⁷。
なお、謝辞などをつける場合には最初の脚注とするが、上付き文字はつけない。
2. **参考文献:** 参考文献は、原則として以下の規格で表示する。詳細は(5)に示す。なお、Webページ、Webサイトを示す場合は(4)に従う。

著者名 年 書名 発刊地: 出版社名.

- (1) 参考文献は、日本文と英文のものに分類し、日本文のものは著者名の五十音順に、英文のものは著者名のアルファベット順に並べる。
- (2) 同一著者の著作が2本以上ある場合は、2本目からその著者名をアンダーライン(半角8文字分=全角4文字分)で表示する。
[例] 山田孝志 1987年「アジア…」『成蹊大学経済学部論集』第3巻 第2号。
_____ 1994年「日本の…」『日本経営学会誌』第8巻 第3号。
- (3) 同一著者で同一年度の著作が2本以上ある場合は、年度の後には小文字のアルファベットを付して識別する。
[例] Page, R. 1961a. “Equilibrium ….” *Econometrica*, Vol.16, No.1: 112-9.
_____. 1961b. “Price …………….” *Econometrica*, Vol.16, No.4: 96-103.
- (4) Webサイト、Webページを参照する場合は、原則として以下の規格で表示する。
著者名 “Webページタイトル” サイト名 URL (参照年月日)

(5) 参考文献の詳細

<日本語文献>

- **単行本:** 著者名 出版年 『書名』 発刊地: 出版社名.
[例] 永野善子 1986年 『フィリピン…』 東京: 千曲書店.
- **論文:** 著者名 年 「論文名」 『雑誌名』 巻号: 掲載ページ.
[例] 石川茂 1986年 「農村に…」 『経済研究』 第38巻 第1号: 11-25.
- **未刊行物:** 著者名 印刷年 「論文名・資料名」 印刷元.
- **新聞:** 『新聞名』 年 「記事のタイトル」 月日.

<外国語文献>…尚、詳細は、当センター英文用執筆要綱(Guide for Writing)を参照されたい。

- 単行本: 著者名. 出版年. 書名. 出版地: 出版社名.

[例] Basu, Karen. 1986. *The ... Economy*. London: Blackwell.

- 論文: 著者名. 出版年. “論文名” 雑誌名, 巻号. : 掲載ページ.

[例] Scott, J. 1991. “Politics ...” *Political Review*, Vol.6, No.1: 26–38.

- 学位論文: 著者名. 年月. “論文名” 学位名, 提出先.

[例] Kim, S. Jin. 1996. “Power... in Product.” Master Thesis, Soul University.

- 新聞・雑誌: 著者名. 年. “記事のタイトル.” 新聞・雑誌名. 巻号. 月日.

[例] Camille, Andre. 1984. “Deciding Who...Dollars.” *Wall Street Journal*, March 27.

著者がわからない場合;

[例] The Daily Yomiuri. 1998. “If the Market Balloon Bursts, U.S. Economy May Bubble on.” April 30.

IV. 図表の表記について

図や表は、それぞれ通し番号を付し、表題をつける。表題は、表の場合は上に、図の場合は下につける。図や表には、出所や単位を明記する。なお、表内の不明なデータは「N/A」とする。

[表例]

表 1. 性別による喫煙者と非喫煙者の人数

	喫煙者	非喫煙者	合計
男性	1,258	N/A	N/A
女性	1,194	2,752	3,946
合計	2,452	2,752	3,946

出典:.....

注記:.....

[図例]

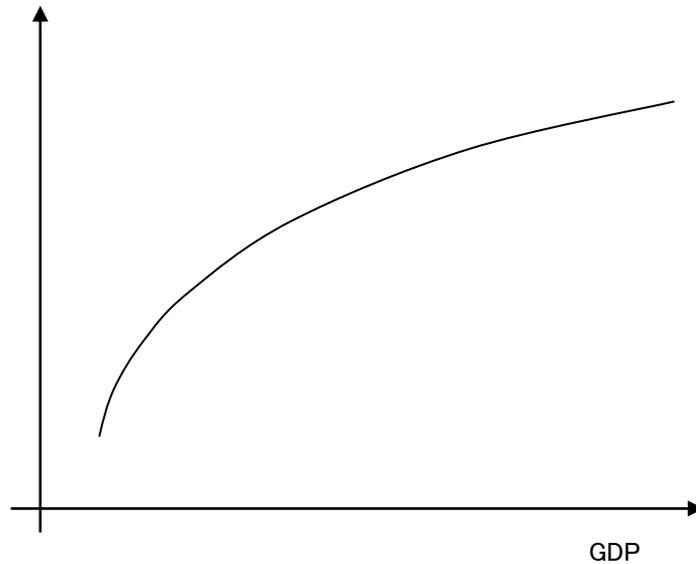


図 2. 価格と GDP の関係

出典:……

注記:……

附則:(2008年 3月 1日制定)

- 1 この要領は、2008 年度発行の「アジア太平洋研究 33 号」掲載論文より適用する。
- 2 「研究誌『アジア太平洋研究』原稿執筆要綱」は廃止する。

附則:(2010年 1月 14日改正)

- 1 この要領は、2010 年度発行の「アジア太平洋研究 35 号」掲載論文より適用する。

附則:(2022年 4月 25日改正)

- 1 この要領は、2022 年度発行の「アジア太平洋研究 47 号」掲載論文より適用する。